

#### 資料4. 海外主要国のP R T R制度の概要

国名	制度	対象物質数	対象施設	届出データの扱い	把握開始
米国	TRI (有害物質排出目録)	666	製造業等(業種指定。従業員数及び年間取扱量ですぞ切り)	個別データ及び集計データを公表	1987
カナダ	NPRI (全国汚染物質排出目録)	367	製造業等(業種指定。従業員数及び年間取扱量ですぞ切り)	個別データ及び集計データを公表	1993
豪州	NPI (全国汚染物質目録)	93	製造業等(年間取扱量ですぞ切り)	個別データ及び集計データを公表	1998
英国	PI (汚染目録)	209	製造業等(業種指定。年間排出量ですぞ切り)	個別データ及び集計データを公表	1991
オランダ	IEI (個別物質排出目録)	180	環境管理法上の許可が必要とされる施設等	集計データを公表 (個別データはID登録又は請求により開示)	1974
EU	E-PRTR (欧州汚染物質排出移動登録)	91	製造業等(事業活動指定。年間排出量ですぞ切り)	個別データ及び集計データを公表予定 第1回目の公表は2009年を予定	2007
日本	PRTR (化学物質排出移動量届出制度)	354(平成22年度以降は462物質)	製造業等(業種指定。従業員数及び年間取扱量ですぞ切り)	個別データ及び集計データを公表	2001

(参考)他のO E C D加盟国の状況

ベルギー・フランドル地方(1993年~ 大気63物質、水質162物質)、デンマーク(1997年~ )、フィンランド(1988年~ )、ノルウェー(1992年~ )、アイルランド(1996年~ 50物質)、スウェーデン(2000年~ 70物質)、イタリア(2002年~ 50物質)、韓国(1999年~ 388物質)、メキシコ(1997年~ 104物質)、スロバキア(2003年~ 50物質)、イスラエル(2001年~ 50物質)、フランス(2003年~ 大気43物質、水37物質、毒性・発がん性物質56物質)

各種資料より作成